



平成 30 年 4 月 18 日

各位

会社名:ヒューマン・メタボローム・テクノロジーズ株式会社
代表者名:代表取締役社長 菅野 隆二
(コード番号:6090 東証マザーズ)
問合せ先:取締役経営管理本部長 長谷川 哲也
(TEL:03-3551-2180)

通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 29 年 5 月 10 日に公表した平成 30 年 3 月期(平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日)の連結業績予想を以下のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

1. 平成 30 年 3 月期の連結業績予想数値の修正(平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	980	△294	△292	△293	△50.44
今回修正予想(B)	938	△140	△149	△156	△26.93
増減額(B-A)	△42	154	143	137	—
増減率(%)	△4.3	—	—	—	—
(参考)前期連結実績 (平成 29 年 3 月期)	914	△43	△40	△61	△10.86

2. 修正の理由

売上高につきましては、主力であるメタボローム解析事業において、食品・製薬分野を中心に受注は堅調に推移したものの、一部大型案件の売上計上が次期にずれ込んだこと等により、期末(平成 30 年 3 月末)の受注残高が例年に比して高水準となったため、予想を下回る見込みです。

利益面につきましては、売上が予想を下回った一方で、大うつ病性障害血液バイオマーカー(リン酸エタノールアミン)の実用化・事業化に向けた研究・技術開発の過程で、測定機器の開発に関して、技術的難易度の観点から優先順位を下げたことに伴い、当初見込んでいた研究開発費が減額となったことや、一部の臨床研究を次期に繰り越したこと等により、営業利益・経常利益ともに損失額が縮小する見込みであります。

平成 31 年 3 月期も引き続き、メタボローム解析、バイオマーカー両事業の中長期的な成長のため、積極的な投資・研究開発活動を行ってまいります。

(注) 上記の予想は、本資料発表日において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上